

- J Thromb Haemost.* 2006, 4(8): 1738-1746.
130. Madoiwa S, Nunomiya S, Ono T, Shintani Y, Ohmori T, Mimuro J, Sakata Y. Plasminogen activator inhibitor 1 promotes a poor prognosis in sepsis-induced disseminated intravascular coagulation. *Int J Hematol.* 2006, 84(5): 398-405.
131. Madoiwa S, Someya T, Hironaka M, Kobayashi H, Ohmori T, Mimuro J, Sugiyama Y, Morita T, Nishimura Y, Tarumoto T, Ozawa K, Saito K, and Sakata Y. Annexin 2 and hemorrhagic disorder in vascular intimal carcinomatosis. *Thromb Res.* 2007, 119(2): 229-240.
132. Kimura A, Ohmori T, Ohkawa R, Madoiwa S, Mimuro J, Murakami T, Kobayashi E, Yatomi Y, Sakata Y: Essential Roles of Sphingosine 1-Phosphate/S1P1 Receptor Axis in the Migration of Neural Stem Cells Toward a Site of Spinal Cord Injury. *Stem Cells.* 2007, 25(1): 115-124.
133. Asakura H, Wada H, Okamoto K, Iba T, Uchiyama T, Eguchi Y, Kawasugi K, Koga S, Mayumi T, Koike K, and Gando S: Evaluation of hemostatic molecular markers for diagnosis of disseminated intravascular coagulation in patients with infections. *Thromb Haemost.* 2006, 95: 282-287.
134. Kamikura Y, Wada H, Sase T, Yamaguchi M, Kaneko T, Sakaguchi A, Abe Y, Nishioka J, Nobori T, and Shiku H: Hemostatic abnormalities and leukocyte activation caused by infection in patients with malignant lymphoma. during chemotherapy. *Thromb Res.* 2006, 117: 671-679.
135. Matsumoto T, Wada H, Nishioka Y, Nishio M, Abe Y, Nishioka J, Kamikura Y, Sase T, Kaneko T, Houdijk WP, Nobori T, and Shiku H: Frequency of Abnormal Biphasic aPTT Clot Waveforms in Patients with Underlying Disorders Associated with Disseminated Intravascular Coagulation. *Clin Appl Thromb Hemost.* 2006, 2: 185-192.
136. Matsumoto T, Kaneko T, Wada H, Kobayashi T, Abe Y, Nobori T, Stearns-Kurosawa DJ, and Kurosawa S: Proteinase 3 expression on neutrophil membranes from patients with infectious disease. *Shock* 2006, 26: 128-133.
137. Wada H, Kobayashi T, Abe Y, Hatada T, Yamada N, Sudo A, Uchida A, and Nobori T: Elevated levels of soluble fibrin or D-dimer indicate high risk of thrombosis. *J*

*Thromb Haemost.* 2006, 6:  
1253-1258.

138. Kuwana M, Kurata Y, Fujimura K, Fujisawa K, Wada H, Nagasawa T, Nomura S, Kojima T, Yagi H, and Ikeda Y: Preliminary laboratory based diagnostic criteria for immune thrombocytopenic purpura: evaluation by multi-center prospective study. *J Thromb Haemost.* 2006, 4: 1936-1943.
139. Kobayashi T, Wada H, Kamikura Y, Matsumoto T, Mori Y, Kaneko T, Nobori T, Matsumoto M, Fujimura Y, and Shiku H: Decreased ADAMTS13 activity in plasma from patients with thrombotic thrombocytopenic purpura. *Thromb Res.* 2006, Epub.
140. Wada H, Sakaguchi A, Abe Y, and Kobayashi T: Disseminated intravascular coagulation in leukemia and sepsis. *Vascular disease Prevention* 2006, 3: 1-10.
141. Sato M, Suzuki A, Nagata K, Uchiyama S: Increased von Willebrand factor in acute stroke patients with atrial fibrillation. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 2006, 15:1-7

2.学会発表  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む)

- 1.特許取得  
特になし
- 2.実用新案登録  
特になし
- 3.その他  
特になし

(様式2)

国立循環器病センター倫理委員会審査判定通知書

平成17年12月19日

(申請者)

病因部長 宮田 敏行 殿

国立循環器病センター  
倫理委員会委員長 武 部



受付番号 M17-33-2

課題名 The Study On Profile And Genetic Factors Of Aspirin Resistance (Pro GEAR study) アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究

代表者名 病因部長 宮田 敏行

上記課題を、平成17年12月19日の委員会で審議し、下記のとおり判定したので通知する。

記

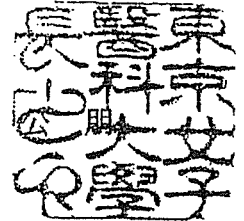
判定	<input checked="" type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 条件付承認 <input type="checkbox"/> 不承認 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 継続審議
理由	・ 慎重に検討されており問題はない。



平成18年6月26日

神経内科学  
岩田 誠 教授 殿

学 長  
高 倉



### 遺伝子解析研究に関する倫理委員会審査結果通知書

貴職から平成18年1月10日付（受領日1月10日）申請のあった研究計画について、下記のとおり決定とする。

- 1) 申請課題名  
「アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究」
  
- 2) 研究責任者名     岩 田    誠  
  
    部 署 名         神経内科学  
  
    役 職 名         教授
  
- 3) 審査結果         「承 認」
  
- 4) 受付番号         「 9 6 」

様式2

## 倫理問題審議結果通知書

平成 17年 10 月 28 日

長尾 毅彦 様

荏原病院倫理委員会  
委員長

吉川 達也



受付番号

課題名	アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子的背景に関する研究
実施責任者	神経内科医員 長尾 毅彦

さきに申請のあった上記課題に関する審議結果を、下記のとおり通知します。

審 議 結 果
本研究への参加を承認する。

審 議 経 過

意義ある研究であり、患者にとってのリスク、デメリットがないこと、遺伝子解析に関する適切な倫理的配慮がなされていることから、特に異論は出されず、承認の結論に達した。

別紙様式第3

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査結果通知書

平成18年6月26日

研究責任者

細見直永 殿

香川大学医学部長

田 港 朝 彦



受 付 番 号 平成17-2  
 課 題 名 The Study on Profile and Genetic factors of Aspirin Resistance  
 (ProGEAR study) アスピリンレジスタンスの実態ならびにその  
 遺伝子背景に関する研究  
 研 究 期 間 新規 継続(いずれかにレを付けること。)  
 承認日から2009年9月30日まで  
 研 究 責 任 者 名 医学部附属病院循環器・腎臓・脳卒中内科  
 細 見 直 永

先に申請のあった上記課題に係る 実施計画 出版公表原稿 のプロトコール一部改訂  
 及び試料等提供に関する合意文書の修正を平成18年6月26日決裁を経て、下記のとおり  
 決定したので通知します。

記

遺 伝 子 解 析 研 究 に つ い て の 意 見	<input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 条件付承認 <input type="checkbox"/> 変更の勧告 <input type="checkbox"/> 不承認                      (いずれかにレを付けること。)
	条件、勧告又は理由
	少数意見

# 審査結果通知書

平成18年1月11日

申請者

木村和美殿

川崎医科大学・同附属病院倫理委員会  
委員長 植木宏明

受付番号 141

課題名: The Study on Profile and Genetic factors of Aspirin Resistance (ProGEAR study)  
アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究

研究者名: 本学 内科学(神経) 副部門(脳卒中) 助教授 木村和美、  
国立循環器病センター研究所 富田敏之、 他 21施設 35名

さきに申請のあった上記課題に係る実施計画・出版公表原稿を、平成17年12月12日の委員会で審査し、下記のとおり判定した。

## 記

判定	非該当	○承認	条件付承認	変更の勧告	不承認
理由又は勧告	(特記事項なし)				

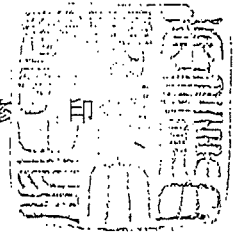


ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査結果通知書

平成17年12月9日

申請者 所属 神経内科学講座  
職氏名 助手 斎藤 こずえ 殿  
所属長 職氏名 教授 上野 聡 殿

奈良県立医科大学長 吉田 修 印



受付番号 31

課題名 アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究①

平成17年11月18日付けで申請のあつた上記課題について、平成17年12月 1日の奈良県立医科大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会での調査及び審査した結果をうけて、下記のとおり判定しましたので通知いたします。

記

1 判定

- (1) 非 該 当
- (2) 承 認
- (3) 条件付承認
- (4) 変更の勧告
- (5) 不 承 認

2 条件・勧告又は理由

国立循環器病センターの申請書を添付すること

承認番号 1.4  
平成17年 9月30日

### 倫理委員会審査結果通知書

申請者  
内科医長 中 根 博 毅

福岡東医療センター  
倫理委員会委員長  
(福岡東医療センター院長)



受付番号	1.5
課 題 名	アスピリンレジスタンスの実態並びにその遺伝子背景に関する研究
代表者名	国立循環器病センター研究所 病因部部長 宮田 敏行

上記の課題を平成17年9月26日の委員会で審議し、下記のとおり判定したので通知します。

記

(判 定)
<input checked="" type="radio"/> 承認 <input type="radio"/> 条件付承認 <input type="radio"/> 不承認 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 継続審議 <input type="radio"/> 中 止
(理 由)

様式4号

倫理委員会審査結果通知書

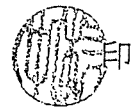
平成17年 11 月 2 日

申請者： 診療部 部長 中川原 譲二

医療法人医仁会 中村記念病院

倫理委員会

委員長 中村博彦



課題名： 抗凝固薬・抗血小板薬の標的およびこれら薬剤を修飾するタンパク質・遺伝子の解析を通じた最適投与量の評価方法の標準化に関する研究

実施責任者： 診療部 部長 中川原 譲二

上記について、平成17年 10 月 27 日の倫理委員会(持ち回り)で審査し、下記の通り判定しましたので、ここに通知します。

判定
<input checked="" type="radio"/> 承認する
<input type="radio"/> 条件付で承認する
<input type="radio"/> 承認しない
<input type="radio"/> 該当しない
条件または変更勧告の理由

2006年 5 月29日

内科学系  
 助教授  
 後藤 信哉 殿

病院長 幕内 博



### 臨床研究の実施に関する通知書

2006年4月19日付をもって貴殿から申請のあった臨床研究実施について審査の結果、下記の通り決定しましたので通知します。

記

1. 申請受付番号	2. 臨床研究申請者	3. 所属			
臨審委(受) 第06-009号	後藤 信哉	内科学系			
4. 担当診療科 循環器内科					
5. 臨床研究課題 The Study on Profile and Genetic Factors of Aspirin Resistance (ProGEAR Study) アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究					
6. 臨床研究実施期間 承認日～平成21年10月31日		7. 予定症例数 50症例			
8. 臨床研究責任者： 後藤 信哉 (内科学系、循環器内科、助教授) 臨床研究分担者： なし					
9. 審査結果	(1) 審議事項	<input checked="" type="radio"/> ア 実施	イ. 変更	ウ. 継続	エ. 有雷事象等
	(2) 判定	<input checked="" type="radio"/> ア. 承認	イ. 条件付承認	ウ. 保留	エ. 非承認 オ. 既承認の取消
10. 実施上の留意事項及び条件又は非承認の趣旨等 ・ 申請書 ① 遺伝子解析を「体細胞遺伝子解析研究」→「生殖細胞系列遺伝子解析研究」へ変更すること。 ・ 研究計画書について ① P.2 「400症例」→「50症例」へ変更すること。 ② P.4 「連結不可能匿名化」→「連結可能匿名化」へ変更すること。 ③ サーバー管理者氏名と管理者の責任範囲について、研究事務局に問い合わせること。 ・ 説明文書・同意書について ① 健康被害の補償について記載すること。 審議結果は「承認」とするが、上記内容を修正したものを提出すること。 提出された書類について委員長・事務局が確認する。					
11. 特記事項					
12. 委員会出席者名 加藤俊一、灰田宗孝、小林広幸、白石光一、二宮佐好、梅澤博之、西野廣子、豊田淑恵、熊谷士郎、蒲池光久、井上 渉、横山直樹 (12名) 委員会開催日：第35回 2006年5月9日					

以上

## 遺伝子研究倫理委員会 判定

申請課題：アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景  
に関する研究

申請科・部署名：内科学講座

所属長：主任教授 寺本民生

申請者：医学部教授 一色高明

申請日：平成17年9月29日

本研究については平成17年10月6日付で各委員による審査が行われ、各委員から意見書が提出された。このうち1名の委員からの意見に対して、申請者から返答文書が提出された。

平成17年10月31日付で該当委員による審査が再度行われ、11月4日をもって審議が終了した。

よって以下の条件のもとに本研究計画の実施を可と判定する。

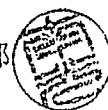
### 条件

1. 本研究は医学部 一色高明教授が研究責任者として行うこと。
2. 研究責任者は申請した研究計画書にそって研究を行い、申請した説明文書と同意文書を用いて試料の提供を受けること。
3. 研究責任者・研究担当者は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（以下「倫理指針」）3に記載された「すべての研究者等の基本的な責務」を遵守すること。
4. 研究責任者は「倫理指針」5に記載された「研究責任者の責務」を遵守すること。
5. 研究責任者は「倫理指針」5に記載された「研究責任者の責務」（5）にしたがって、研究の実施状況について研究機関の長に1年に1回定期的に文書で報告すること。

平成 17 年 11 月 28 日

遺伝子研究倫理委員会

委員長 南光進一郎



副委員長 沖永功太

委員 水口國雄

委員 井上圭三

委員 堀内俊一

委員 江川恵津子

委員 井上柄厚

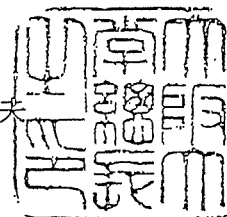


許可番号 111

平成17年11月17日

医学系研究科・助手  
北川 一夫 殿

総長 宮原 秀夫



### ヒトゲノム研究審査結果通知書

課 題 名：「アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究」  
研究責任者所属氏名：医学系研究科・助手 北川 一夫  
研究実施承認期間：平成17年11月～平成21年12月

上記に係る実施計画等（研究）を平成17年11月1日開催の委員会で審査し、結果、承認したので通知します。

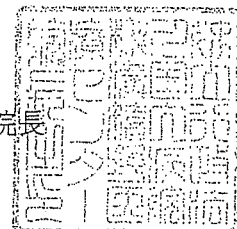
様式2

倫理委員会審査結果通知書

平成18年 1月30日

申請者 入江克実 殿

嬉野医療センター院長



承認番号：05-28

課 題： アスピリンレジスタンスの実態並びにその遺伝子背景に関する研究

研究責任者： 入江克実 所 属 嬉野医療センター統括診療部  
職 名 内科系第2部長

先に申請のあった上記課題に係る実施計画については、平成18年 1月27日の委員会で審査し、下記のとおり判断しましたので通知します。

記

判 定 : 承認 条件付承認、 不承認、 非該当

理由又は勧告 :

そ の 他 :



様 式 第 3 号

倫 理 委 員 会  
審 査 結 果 通 知 書

平成 17 年 6 月 1 日

実施責任者  
脳血管内科  
医 師 古 井 英 介 殿

広南病院倫理委員会  
委 員 長 野 村 宏



課題名：抗凝固薬・抗血小板薬の標的およびこれら薬剤を修飾するタンパク質・遺伝子の解析を通じた最適投与量の評価方法の標準化に関する研究

上記課題の実施計画を平成 17 年 6 月 1 日の倫理委員会にて審査し、下記のとおり判定しましたので通知します。

記

判 定

- 承認する。
- 条件つきで承認する。
- 変更を勧告する。
- 承認しない
- 該当しない

別記様式第3号(第8条関係)

遺伝子解析研究許可決定通知書

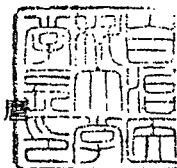
平成18年 3月10日

申請者(研究責任者)

内科学講座循環器内科学部門  
荻尾七臣 殿

自治医科大学

学長 高久史 磨



受付番号: 第 遺05-30号

課題等名

The Study on Profile and Genetic factors of Aspirin Resistance(ProGEAR study)

アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究

さきに申請のあった上記の課題について、遺伝子解析研究倫理審査委員会及び生命倫理委員会での審議及び審査結果を踏まえ、研究の実施を許可することに決定したので通知します。

なお、生命倫理委員会の判定結果は下記のとおりでした。

記

判定結果	承認	条件付承認	変更の勧告	不承認	中止	その他
理由、条件、勧告 又は意見						

審査結果通知書

研究責任者（申請者） 和 田 英 夫 殿

平成 17 年 12 月 21 日

三重大学大学院医学系研究科長  
鎮 西 康 雄 印

\*受付番号 No. 611

研究課題名

The Study on Profile and Genetic factors of Aspirin Resistance (ProGEAR study)  
アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究

上記に係る倫理審査申請等について、下記のとおり判定したので、通知します。

記

判定	① 承認                      2 条件付承認                      3 不承認
理由	

別記様式第6（第10条関係）

審 査 結 果 通 知 書

平成18年 4月18日

循環器病態学分野

小川 久雄 教授 殿

大学院医学薬学研究部長

原田 信志

受付番号 ゲノム第108号

課題名 「アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究」

研究責任者名 循環器病態学分野 小川 久雄 教授

上記研究計画書について、平成18年4月10日の熊本大学大学院医学薬学研究部等倫理委員会の判定に基づき、下記のとおり決定したので通知します。

記

決定内容	許 可 不許可	条件付き許可 対 象 外	計画変更の勧告
条件又は変更あるいは不許可の理由			